

「最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出額2ヶ月連続で対前年同月比増加～」

日本機械輸出組合 2021.3.10

・2021年1月の機械輸出額は3兆5,593億円、対前年同月比4.3%増と、2ヶ月連続で対前年同月比増加した。為替・営業日要因が8.2%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は3.6%減となった。3月5日発表の貿易統計速報によれば、2021年2月上中旬の全商品輸出は0.5%減であった。
・1月の機械輸出は、中国及び韓国・台湾向けが対前年同月比で大きく増加し、機械輸出額全体も2020年12月に続き、対前年同月比で増加した。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:5兆7,796億円(対前年同月比 [以下同じ] 6.4%増、2ヶ月連続対前年同月比増加)
- ② 全商品輸入額:6兆1,049億円(9.5%減、21ヶ月連続対前年同月比減少)
- ③ 貿易収支:3,254億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆5,593億円(4.3%増、2ヶ月連続対前年同月比増加)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:3.6%減
- ② 機械輸入額:2兆1,938億円(4.8%増、2ヶ月ぶりに対前年同月比増加)

(2) 為替・営業日動向

2021年1月に8.2%の増加要因、2月に11.7%の減少要因、3月に10.5%の増加要因。
(2021年3月の為替要因は3月9日の東京市場のレートにより、仮計算)

(3) 地域別動向

- ① 中国、韓国・台湾向けを除く4地域向けで対前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:6.4%減、2ヶ月連続 対前年同月比減少(図表4、5)
- ③ EU27向け:4.8%減、16ヶ月連続 対前年同月比減少(図表4、5)
- ④ 中国向け:26.5%増、2ヶ月連続 対前年同月比増加(図表4、5)
- ⑤ 韓国・台湾向け:26.0%増、2ヶ月連続 対前年同月比増加(図表4、5、6、7)
- ⑥ ASEAN・南アジア向け:1.8%減、25ヶ月連続 対前年同月比減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑦ その他地域向:4.3%減、12ヶ月連続 対前年同月比減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中産業機械等14業種が対前年同月比増加。

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 半導体製造装置(韓国・台湾、中国向け中心)、産業用ロボット(中国、北米向け中心)、電動機(中国、北米、EU向け中心)、通信機械部分品(中国向け中心)、電気・電子計測器(中国、韓国・台湾向け中心)等が大きく増加
- ② 航空機部品、鉄道車両、船舶等が対前年同月比で大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機、携帯電話、電子デバイス等8機種が対前年同月比で増加

Ⅱ トピックス

近年輸出が増加している半導体製造装置であるが、2020年の輸出金額は2兆5,167億円である。機種別に見ると、乗用車、自動車部品、電子デバイスに次いで4番目に多く、機械輸出額の5.9%を占めている。

2020年機械輸出上位10機種

	輸出金額 (億円)	対前年 増減率(%)	シェア (%)
乗用車	86,341	▲ 19.2	20.2
自動車部品	42,114	▲ 19.8	9.8
電子デバイス	40,350	1.7	9.4
半導体製造装置	25,167	2.0	5.9
船舶	14,518	▲ 21.7	3.4
建設機械	10,633	▲ 23.8	2.5
その他の光学機器	10,460	▲ 6.6	2.4
コンデンサー等部分品	10,261	▲ 0.2	2.4
その他の配電制御装置	9,922	▲ 2.9	2.3
風水力機械	7,863	▲ 5.7	1.8
機械輸出金額	428,441	▲ 12.9	100.0

半導体製造装置の上位輸出仕向け国は、世界トップ10に入る半導体企業本社が所在する米国(インテル、マイクロン等)、韓国(サムスン電子、SKハイニックス等)、台湾(TSMC等)、中国(ハイシリコン)の4ヶ国の他、トップ10に次ぐ半導体企業のインフィニオンのあるドイツや半導体の組み立てメーカーが多くあるシンガポール及びマレーシアに加え、イスラエルがある。

半導体製造装置
2020年上位輸出仕向け国
(百億円以上)

国名	輸出金額 (億円)
中国	9,656
台湾	5,185
韓国	4,863
アメリカ合衆国	3,285
シンガポール	691
イスラエル	332
ドイツ	270
マレーシア	210
全世界	25,167

イスラエルはインテルの半導体製造工場(約1万人を雇用)がある他、半導体関連のベンチャー企業が多く創業され、中東のシリコンバレーとも言われており、今後も日本からの半導体製造装置の輸出はコンスタントに継続されると思われる。

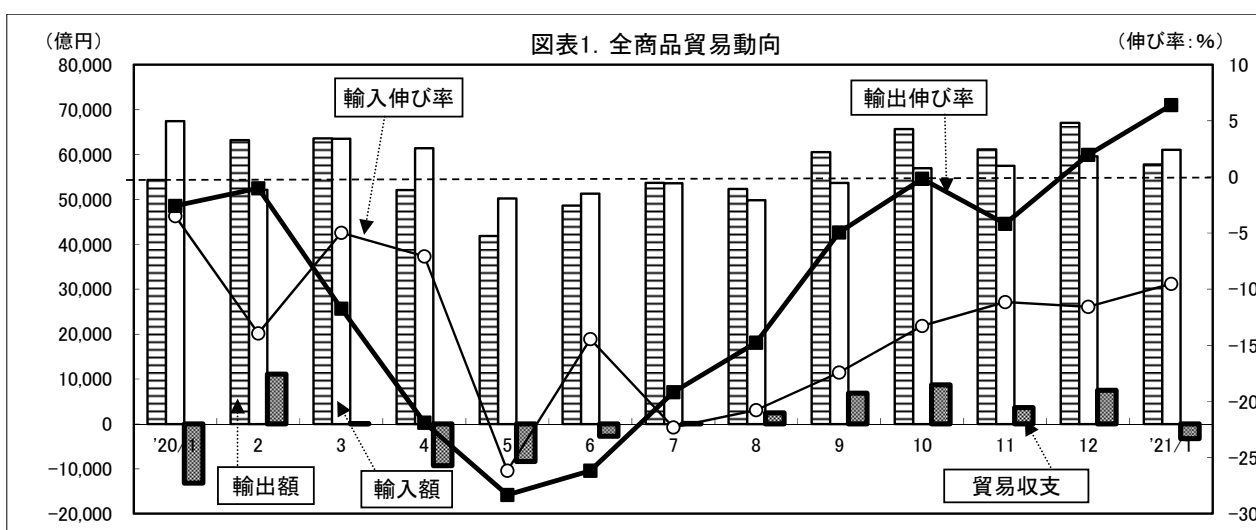
上記で言う半導体製造装置とは、

拡散炉、結晶引上装置、結晶研削機、ウエハー切断装置、ウエハー研削機、薄膜形成装置、ドーピング装置、エッチング及びレジスト剥離装置、リソグラフィ装置、露光したウエハーを現像する装置、半導体デバイスまたは集積回路の組立て装置、半導体デバイス用の物質の運搬・荷扱い及び保管のためのAMH(automated material handling)機器、FPD用のスピナー、切断加工用の機器が含まれる。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は2ヶ月連続 対前年同期比で増加、輸入は21ヶ月連続で減少～

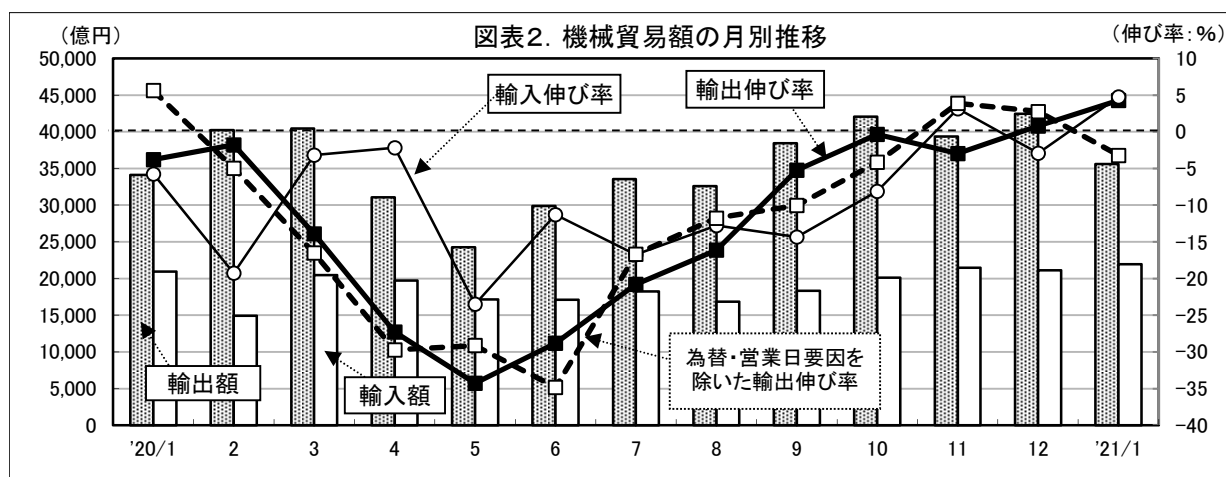
- 2021年1月の全商品輸出額は**5兆7,796億円**、前年同月比(以下同じ)**6.4%増**と2ヶ月連続で対前年同月比増加した(2020年12月2.0%増)。これは、約21%を占める輸送用機器(8.7%減)が減少したものの、約19%の一般機械(12.5%増)をはじめ、約18%の電気機器(13.3%増)、約14%のプラスチック等化学製品(23.6%増)等が増加したためである。
- 輸入額は**6兆1,049億円**、**9.5%減**と21ヶ月連続で対前年同月比減少した(2020年12月11.6%減)。これは、全輸入額の約19%を占める電気機器(10.6%増)が増加したものの、約18%の原油等鉱物性燃料(26.9%減)、約10%の医薬品等化学製品(11.1%減)、一般機械(6.2%減)や約9%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(8.8%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、7ヶ月ぶりに赤字(3,254億円、2020年12月は7,496億円の黒字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は2ヶ月連続で対前年同月比増加、輸入は2ヶ月ぶりに対前年同月比増加～

- 全商品輸出額の約62%を占める2021年1月の機械輸出額は**3兆5,593億円**、**4.3%増**と2ヶ月連続で対前年同月比で増加した(2020年12月0.8%増)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は3.6%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約36%を占める機械輸入額は、**2兆1,938億円**、**4.8%増**と2ヶ月ぶりに対前年同月比増加した(2020年12月2.9%減)。

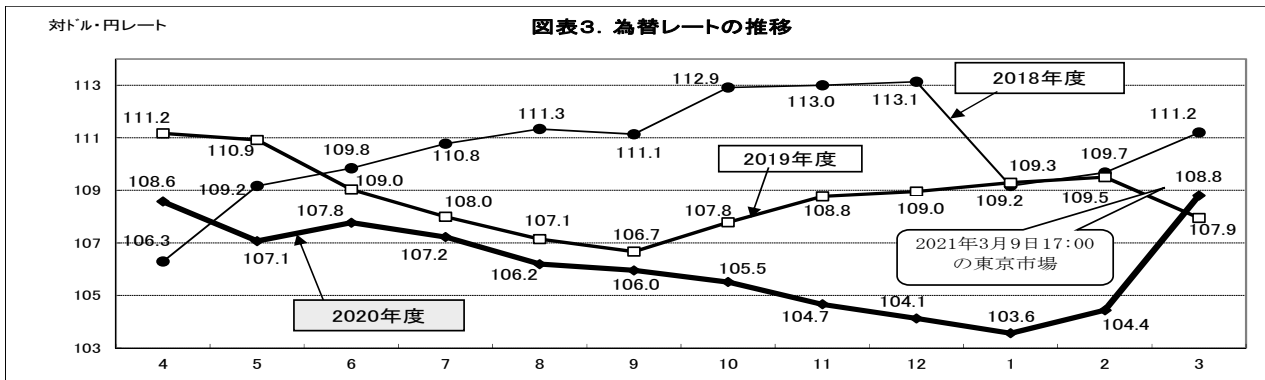


(2) 為替・営業日動向～1月は8.2%の増加要因、2月は11.7%の減少要因～

1) 2021年1月は1ドル＝103.6円となり、前年に比べ5.2%の円高となった。また、対ユーロは126.5円と前年に対して3.9%の円安となり、合わせて約2.3%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると、約10.7%の増加要因となり、合計で約8.2%の増加要因となる。1月の輸出額は4.3%増であったことから、実質的伸び率は3.6%減と3ヶ月ぶりに対前年同月比減少となった(2020年12月2.8%増)。

2) 2月は1ドル＝104.4円で前年比4.6%の円高、対ユーロは126.3円で前年比4.8%の円安となり、合わせて約1.9%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると、約10.0%の減少要因となり、合計で約11.7%の減少要因となる。

3) 3月は、対ドルが3月9日17:00時点の108.8円とすれば、前年比0.8%の円安、また、対ユーロは129.3円で8.4%の円安となり、合わせて約0.9%の為替増加要因となる。営業日は前年に比べて2日多いため、約9.5%の増加要因となり、合計で約10.5%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～中国、韓国・台湾向けを除き、4地域向けで前年同月比減少～

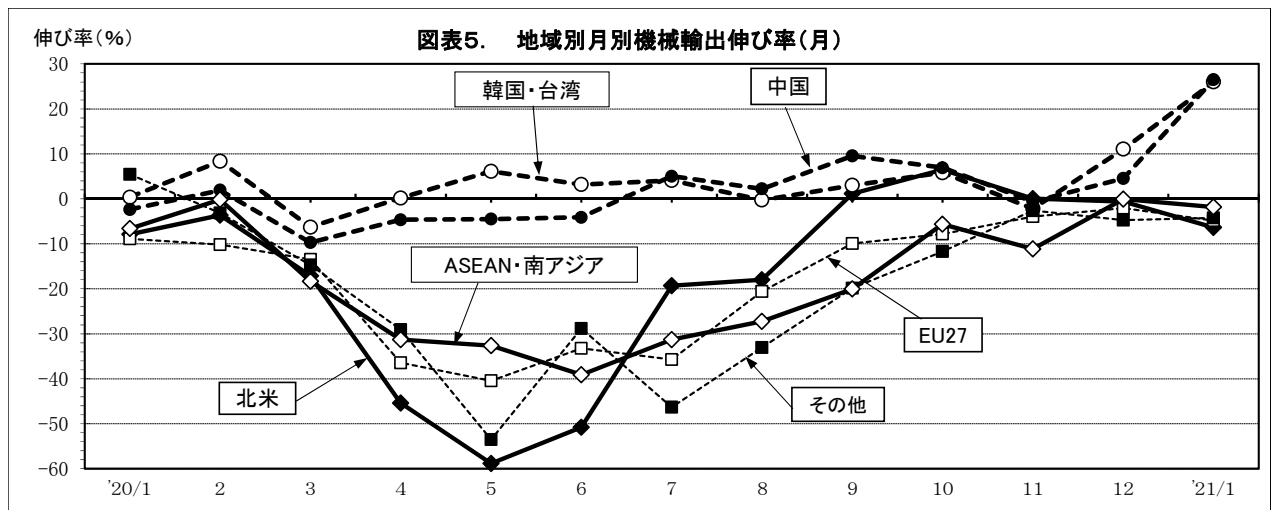
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の22.7%を占める北米向けでは、軽電気機械(2.8%増)、建設機械(15.4%増)が増加したものの、51%を占める自動車(3.0%減)、産業機械(5.9%減)、重電気機械(1.9%減)、航空機部品(54.3%減)等が減少し、6.4%の減少となった。②10.2%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、36%を占める自動車(11.3%減)をはじめとして、産業機械(7.3%減)、理化学用機器等軽機械(0.3%減)等が減少して4.8%の減少となり、③23.9%を占める中国向けでは、26%を占める産業機械(49.6%増)、16%を占める自動車(9.7%増)、15%の電子デバイス(4.4%増)等が増加して26.5%増となった。④12.0%を占める韓国・台湾向けは、自動車(6.6%減)が減少したものの、半導体製造装置等産業機械(41.6%増)、電子デバイス(28.6%増)、光学機械(37.4%増)等が増加して26.0%増となり、⑤14.0%のASEAN・南アジア向けは、マレーシア(12.4%増)、パキスタン(2.2倍)向け等が増加したものの、インドネシア(28.6%減)、フィリピン(15.9%減)、インド(8.2%減)向け等が減少し、業種でも産業機械(0.7%増)、電子デバイス(6.9%増)、電気・電子計測器等軽電気機械(4.3%増)が増加したものの、21%を占める自動車(10.4%減)が大きく減少して1.8%減となった。⑥15.7%のその他地域向けでは、中近東(18.5%減)、アフリカ(6.3%減)、ロシア東欧等(2.8%減)向けが減少し、業種でも約8%を占める産業機械(18.9%増)等が増加したものの、59%を占める自動車(7.0%減)、17%の船舶(12.2%減)等が減少して4.3%の減少となった。⑦2021年1月は、中国、韓国・台湾向けが前年同月比で大きく増加したことにより、機械輸出全体として対前年同月比増加した(2ヶ月連続)。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/11			2020/12			2021/1		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	39,349	▲ 3.0	100.0	42,433	0.8	100.0	35,593	4.3	100.0
北米	10,005	0.04	25.4	10,073	▲ 0.6	23.7	8,081	▲ 6.4	22.7
EU (英国を除くEU27)	3,948	▲ 3.9	10.0	4,409	▲ 2.1	10.4	3,634	▲ 4.8	10.2
英国	654	▲ 9.6	1.7	678	▲ 18.7	1.6	526	▲ 19.0	1.5
中国	9,489	▲ 0.6	24.1	10,802	4.5	25.5	8,510	26.5	23.9
韓国・台湾	4,032	▲ 2.2	10.2	4,750	11.1	11.2	4,268	26.0	12.0
ASEAN・南アジア	5,381	▲ 11.2	13.7	5,779	▲ 0.1	13.6	5,000	▲ 1.8	14.0
その他	5,840	▲ 2.6	14.8	5,941	▲ 4.7	14.0	5,575	▲ 4.3	15.7

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

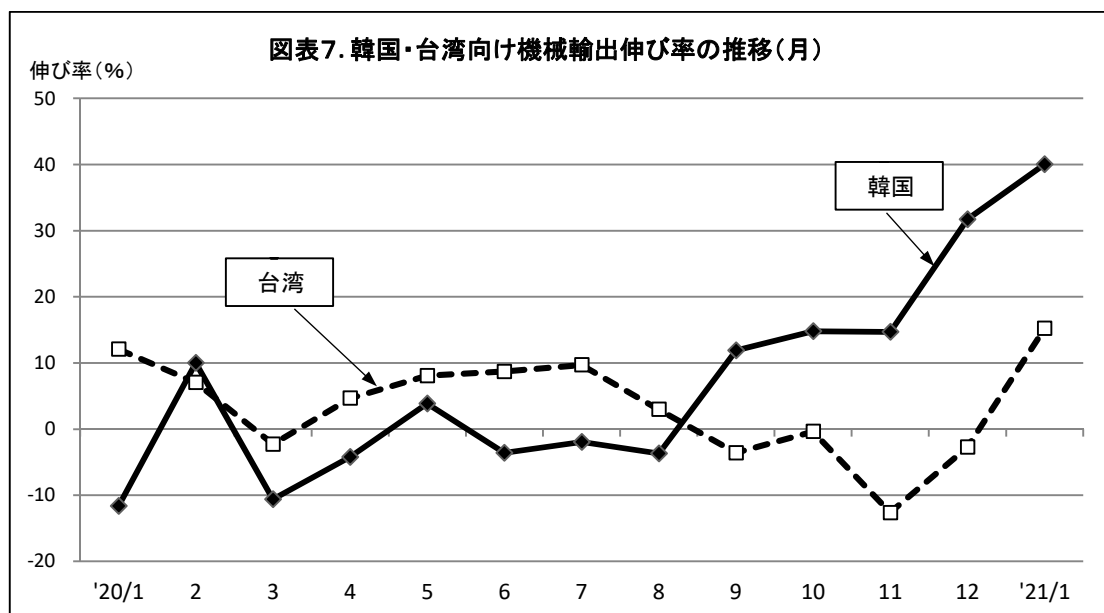


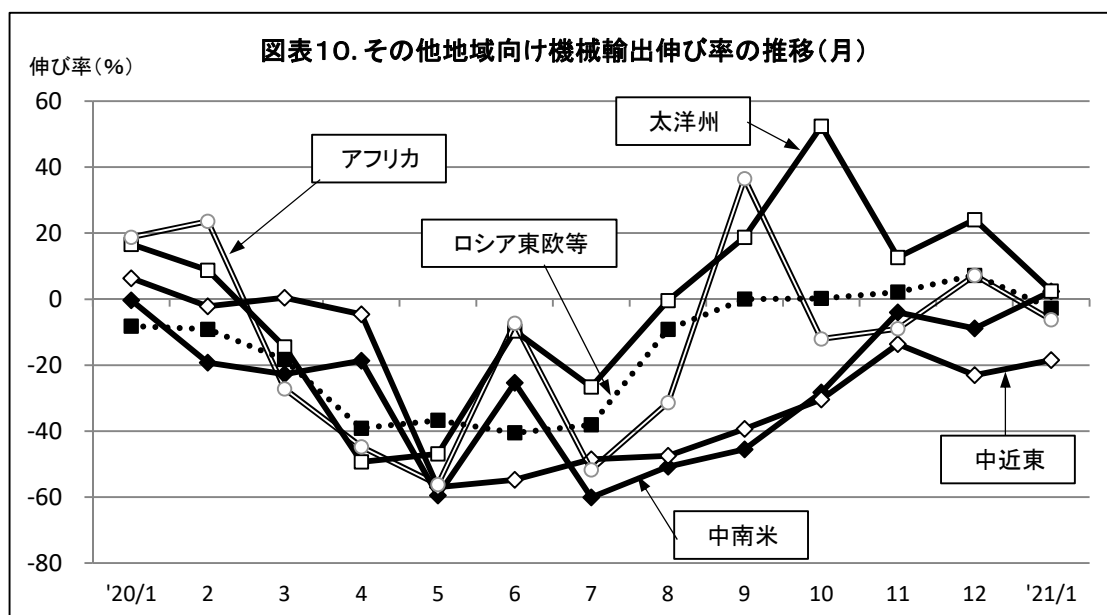
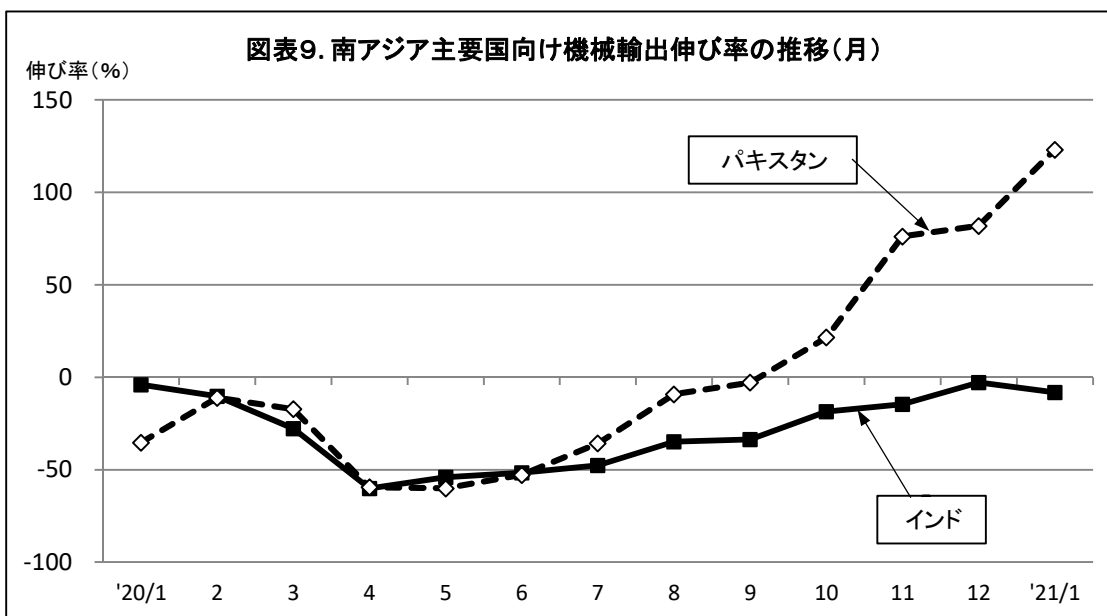
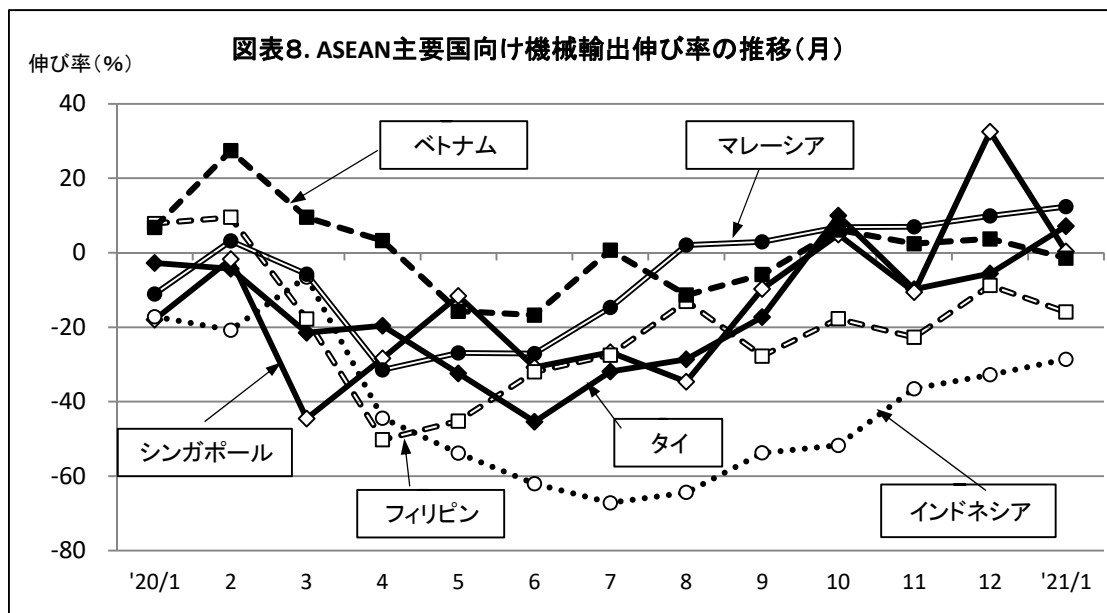
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(単位: 億円、%)

国 名	2020/10		2020/11		2020/12		2021/1	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,869	14.8	1,807	14.7	2,256	31.7	2,061	40.1
台湾	2,339	▲ 0.4	2,224	▲ 12.6	2,494	▲ 2.7	2,207	15.2
ASEAN・南アジア								
タイ	1,744	10.0	1,476	▲ 9.8	1,519	▲ 5.6	1,434	7.2
シンガポール	918	4.9	851	▲ 10.6	1,009	32.5	798	0.3
インドネシア	374	▲ 51.7	425	▲ 36.5	449	▲ 32.8	419	▲ 28.6
マレーシア	709	6.9	688	7.0	702	9.9	620	12.4
フィリピン	541	▲ 17.7	510	▲ 22.7	510	▲ 8.8	459	▲ 15.9
ベトナム	942	6.1	841	2.4	851	3.7	610	▲ 1.4
インド	379	▲ 18.6	363	▲ 14.5	458	▲ 2.8	391	▲ 8.2
パキスタン	71	21.6	94	76.1	133	81.9	97	123.1
その他地域								
中南米	1,761	▲ 28.3	1,587	▲ 4.1	1,635	▲ 8.9	1,805	2.4
中近東	1,322	▲ 30.4	1,521	▲ 13.6	1,482	▲ 23.0	1,146	▲ 18.5
大洋州	1,659	52.4	1,240	12.7	1,190	24.1	1,160	2.4
ロシア東欧等	1,162	0.2	980	2.2	1,112	7.3	981	▲ 2.8
アフリカ	588	▲ 12.1	546	▲ 9.0	701	7.2	583	▲ 6.3

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21 業種中 14 業種が前年同月比で増加、そのうち 8 業種が二桁の増加～

- 1) 業種別では、産業機械(20.5%増)をはじめ、14 業種が前年同月比で増加し(12 月は 13 業種が増加)、そのうち産業機械、電子デバイス(11.3%増)、軽電気機械(17.4%増)等 8 業種が二桁の増加であった。機械全体では 4.3%の増加となった。
- 2) 前年同月比で減少した 7 業種のうち、二桁の減少となったのは、船舶(23.6%減)、航空機部品(54.0%減)等 4 業種となり(12 月は 2 業種)、一桁以下の減少にとどまったのは、自動車(5.0%減)、陸用内燃機関(1.3%減)、通信機械(5.6%減)の 3 業種であった。

図表 11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2020/11				2020/12				2021/1			
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア
自動車	14,280	▲ 3.4	36.3	自動車	14,175	▲ 2.6	33.4	自動車	11,650	▲ 5.0	32.7
産業機械	7,039	▲ 1.5	17.9	産業機械	8,318	▲ 0.03	19.6	産業機械	6,789	20.5	19.1
電子デバイス	3,403	▲ 3.7	8.6	電子デバイス	3,659	5.1	8.6	電子デバイス	3,339	11.3	9.4
軽電気機械	2,580	6.4	6.6	軽電気機械	2,818	11.3	6.6	軽電気機械	2,348	17.4	6.6
重電気機械	2,077	6.0	5.3	重電気機械	2,362	8.8	5.6	重電気機械	1,936	19.5	5.4
軽機械	1,537	▲ 6.9	3.9	軽機械	1,744	1.8	4.1	軽機械	1,427	8.9	4.0
民生用電子機械	1,526	8.0	3.9	民生用電子機械	1,570	6.7	3.7	船舶	1,329	▲ 23.6	3.7
船舶	1,072	▲ 4.2	2.7	光学機械	1,233	▲ 8.3	2.9	民生用電子機械	1,299	13.3	3.6
光学機械	1,019	▲ 16.7	2.6	船舶	1,081	11.5	2.5	光学機械	1,012	9.0	2.8
建設機械	918	25.1	2.3	建設機械	1,081	25.6	2.5	建設機械	948	20.4	2.7
医療機械	545	▲ 4.4	1.4	医療機械	613	4.4	1.4	工作機械	470	9.1	1.3
工作機械	486	▲ 22.3	1.2	工作機械	561	▲ 14.4	1.3	医療機械	459	18.7	1.3
航空機部品	424	▲ 42.2	1.1	陸用内燃機関	473	19.2	1.1	陸用内燃機関	356	▲ 1.3	1.0
通信機械	419	▲ 9.5	1.1	通信機械	430	▲ 8.3	1.0	通信機械	353	▲ 5.6	1.0
電子計算機	416	0.3	1.1	電子計算機	418	▲ 3.8	1.0	電子計算機	353	7.6	1.0
陸用内燃機関	374	2.6	0.9	ベアリング	397	3.7	0.9	ベアリング	318	1.5	0.9
ベアリング	314	▲ 18.7	0.8	航空機部品	367	▲ 47.8	0.9	航空機部品	308	▲ 54.0	0.9
農業機械	216	4.2	0.5	農業機械	217	8.3	0.5	農業機械	182	27.9	0.5
繊維機械	128	▲ 30.6	0.3	繊維機械	160	▲ 9.8	0.4	繊維機械	117	▲ 16.8	0.3
産業車両	92	24.0	0.2	産業車両	95	12.7	0.2	産業車両	89	3.4	0.2
鉄道車両	13	▲ 58.6	0.0	鉄道車両	74	123.9	0.2	鉄道車両	24	▲ 53.9	0.1
21業種合計	38,878		98.8	21業種合計	41,847		98.6	21業種合計	35,106		98.6

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～半導体製造装置、産業用ロボット等が大幅増加、航空機部品等が大幅減少～

- 1) 10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①韓国・台湾、中国向け半導体製造装置(50.4%増)、②中国、北米向け産業用ロボット(42.4%増)、③中国、北米、EU 向け電動機(34.9%増)、④中国向け通信機械部分品(33.2%増)、⑤中国、韓国・台湾向け電気・電子計測器(30.3%増)、⑥北米向け農業機械(27.9%増)、⑦中国、韓国・台湾、ASEAN・南アジア向けその他の配電制御装置(24.8%増)、⑧北米、EU、中国向け写真機の部分品・附属品(23.6%増)、⑨中国向けコンデンサー等部分品(22.0%増)、⑩EU、北米向け白物家電(21.6%増)であった。
- 2) 一方、最も落ち込み幅が大きいのが、航空機部品(54.0%減)、鉄道車両(53.9%減)等であった。

図表 12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2020/11			2020/12			2021/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
建設機械	918	25.1	鉄道車両	74	123.8	半導体製造装置	2,351	50.4
産業用ロボット	165	25.1	産業用ロボット	183	29.9	産業用ロボット	186	42.4
原動力機械	360	24.1	建設機械	1,081	25.6	電動機	210	34.9
産業車両	92	24.0	写真機の部分品・附属品	96	23.6	通信機械部分品	139	33.2
通信機械部分品	159	21.8	その他の重電気機器・部分品	539	21.6	電気・電子計測器	455	30.3
電動機	226	21.2	電気・電子計測器	556	20.5	農業機械	182	27.9
白物家電	310	17.1	陸用内燃機関	473	19.2	その他の配電制御装置	852	24.8
コンデンサー等部分品	948	11.2	電動機	251	17.2	写真機の部分品・附属品	77	23.6
電池	570	10.8	貨物自動車	709	16.7	コンデンサー等部分品	878	22.0
デジカメ・ビデオ	320	10.1	電池	612	14.1	白物家電	283	21.6
機種合計	4,069	* 10.3%	機種合計	4,574	* 10.8%	機種合計	5,613	* 15.8%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2020/11			2020/12			2021/1		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	13	▲ 58.6	航空機部品	367	▲ 47.8	航空機部品	308	▲ 54.0
航空機部品	424	▲ 42.2	発電機	41	▲ 43.2	鉄道車両	24	▲ 53.9
繊維機械	128	▲ 30.6	原動力機械	310	▲ 37.0	船舶	1,329	▲ 23.6
工作機械	486	▲ 22.3	金属加工機械	212	▲ 35.5	繊維機械	117	▲ 16.8
ベアリング	314	▲ 18.7	時計	75	▲ 19.8	原動力機械	241	▲ 15.7
金属加工機械	191	▲ 18.5	工作機械	561	▲ 14.4	受信変換その他送受信機器	78	▲ 14.3
その他の光学機器	850	▲ 17.9	受信変換その他送受信機器	99	▲ 12.0	発電機	33	▲ 11.2
携帯電話	17	▲ 15.2	その他の光学機器	1,049	▲ 11.7	機種合計	2,130	* 6.0%
受信変換その他送受信機器	95	▲ 14.1	機種合計	2,714	* 6.4%			
時計	76	▲ 11.7						
機種合計	2,594	* 6.6%						

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内

* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位 12 機種のうち電子計算機をはじめ 8 機種が前年同月比で増加～

- 1) 2021 年 1 月の機械輸入伸び率は 4.8%増と 2 ヶ月ぶりに対前年同月比で増加した。上位 12 機種のうち電子計算機(20.8%増)、携帯電話(1.9 倍)、電子デバイス(8.6%増)等 8 機種が前年同月に比べて増加し(2020 年 12 月は 7 機種が前年同月比で増加)、そのうち電子計算機、携帯電話、乗用車(37.4%増)の 3 機種が二桁以上の増加であった。減少したのは、自動車部品(14.9%減)、白物家電(1.5%減)、配電機器(2.7%減)、その他の配電制御装置(6.0%減)の 4 機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、受信変換その他送受信機器、白物家電、医療機械、配電機器、TV、デジカメ・ビデオ、時計、通信機械部分品、鉄道車両の 12 機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、金額順に全体の 46%を占める中国(13.6%増)、ASEAN・南アジア(1.1%増)、EU (10.1%増)、韓国・台湾(8.1%増)、北米(21.4%減)、その他地域(11.9%減)であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2020/11				2020/12				2021/1			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,813	67.7	13.1	電子計算機	2,234	7.5	10.6	電子計算機	2,659	20.8	12.1
電子計算機	2,236	12.3	10.4	電子デバイス	2,061	▲ 6.2	9.8	携帯電話	2,508	88.2	11.4
電子デバイス	2,078	4.3	9.7	携帯電話	1,755	11.2	8.3	電子デバイス	2,304	8.6	10.5
自動車部品	971	▲ 11.4	4.5	乗用車	1,362	6.5	6.5	乗用車	1,434	37.4	6.5
乗用車	897	▲ 25.3	4.2	航空機・部品等	992	▲ 47.7	4.7	自動車部品	969	▲ 14.9	4.4
白物家電	815	10.1	3.8	自動車部品	913	▲ 7.3	4.3	航空機・部品等	779	4.3	3.6
受信変換その他送受信	804	14.2	3.7	受信変換その他送受信	771	14.6	3.7	受信変換その他送受信	772	3.5	3.5
医療機械	699	2.0	3.3	白物家電	749	8.9	3.5	白物家電	753	▲ 1.5	3.4
航空機・部品等	668	▲ 34.9	3.1	医療機械	658	▲ 3.7	3.1	医療機械	655	0.7	3.0
配電機器	662	10.6	3.1	配電機器	603	4.2	2.9	配電機器	615	▲ 2.7	2.8
コンデンサ等部分品	482	17.3	2.2	半導体製造装置	492	174.3	2.3	コンデンサ等部分品	437	7.5	2.0
その他の配電制御装置	383	5.8	1.8	コンデンサ等部分品	418	▲ 3.1	2.0	その他の配電制御装置	378	▲ 6.0	1.7
12機種合計	13,508		62.9	12機種合計	13,008		61.6	12機種合計	14,263		65.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等